

## 【今回のテーマ】

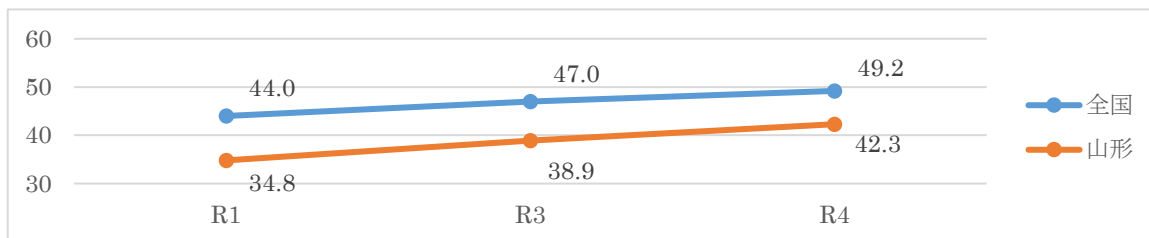
## 「英語教育実施状況調査」から授業改善を考える

本号では、先日文部科学省から公表された「令和4年度英語教育実施状況調査」の結果から、授業改善について考えていきます。

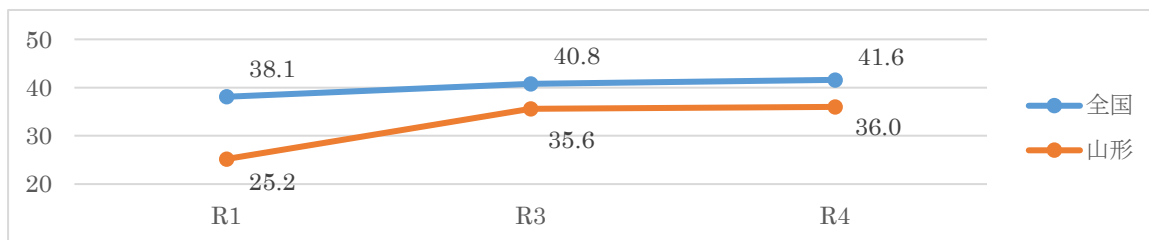
### 山形県の結果概要

☆自校の結果も再確認し、今後の授業改善に向けて考えてみましょう。

#### ○ 生徒の英語力の状況（中学校） ※CEFR A1 レベル相当以上



#### ○ 教師の英語力の状況（中学校） ※CEFR B2 レベル相当以上



#### ○ 「CAN-DO リスト」形式による学習到達目標の設定・公表・把握の状況

	設定	公表	把握
小学校	71.5%	27.6%	55.3%
中学校	100%	57.4%	71.3%

#### ○ 授業における児童・生徒の英語による言語活動時間の割合

	(ア) 授業の75%以上の時間	(イ) 授業の50%以上の時間	(ア) + (イ)
小学校	48.1%	38.7%	86.8%
中学校	13.2%	56.6%	69.8%

#### ○ 授業における教師の英語使用状況（中学校）

	(ア) 発話の75%以上	(イ) 発話の50%以上	(ア) + (イ)
中学校	10.0%	55.2%	65.1%

#### ○ 小中連携の実施状況について

実施率	情報交換	交流	カリキュラム等作成	その他の取組み
64.9%	56.4%	42.6%	12.8%	3.2%

（その他の項目）

- ICT機器の活用状況
- ALTの活用状況
- パフォーマンステストの状況
- など



詳しい結果はこちら  
(文部科学省HP)



## 文部科学省の分析(中学校の結果から)

< 「生徒の英語力」と相関が高い項目 >

生徒の言語活動の割合

教師の英語力

教師の英語使用の割合

ICTの活用

などが影響を与えている。

☆ 生徒の英語による言語活動を増やすこと

☆ 言語活動の取組みでICTやALTを効果的に活用すること

☆ 教師の英語力を高め授業で積極的に英語を使用すること

が生徒の英語力向上に必要！

## 授業で意識したいこと

調査結果を踏まえて、授業づくりで意識できることは何でしょうか。例えば、次の項目を参考に授業改善を図っていきましょう。

□ **児童生徒が、授業で英語を使う時間は十分にありますか**

・「聞くこと」「読むこと」「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」「書くこと」の各領域で言語活動を行う時間を十分に確保しましょう。

□ **ICTとALTを目的に応じて活用していますか**

・ICTを使うべき場面、ALTを活用すべき場面を適切に判断して、それぞれの良さを生かした指導を行きましょう。

□ **教師が積極的に英語を使用して授業を行っていますか**

・授業をコミュニケーションの場とするために、教師の英語による発話を充実させていきましょう。そのために、教師自身が英語力の向上に努めましょう。

□ **小中連携で児童生徒の学びを把握していますか**

・例えば、「第三者について説明する」という小中両方で扱うような場面も、小学校ではどのような言語材料を用いて、どのような言語活動で、どの程度の発話を行ってきたかを把握することで、中学校での学びの積み上げにつながります。

(時間がないときは、電話やメール等での情報交換も)

(参考情報)

「学習到達目標 (CAN-DO リスト) に関して」

①小中学校の連携による英語教育推進事業

②岩手県山田町立豊間根小学校

(国立教育政策研究所研究指定校事業)

③大分県佐伯市立上堅田小学校

①



②



③

